様式３(2020.08改)

作成日　令和２年10月３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300010
事業所名	グループホーム設楽名倉の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	茄子、トウモロコシ、筍、じゃがいも、大根、いんげん、白菜、栗etc.と、まるで道の駅の販売所のように地域の農家から野菜のおすそ分けがあり、職員がお茶菓子とお茶を農作業の合間に届け、感謝を伝えています。また、家族も同様に農産物を届けてくださるとともに、トウモロコシは茹でたものであったりと近親者ならではの配慮も得ています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	本年度の運営推進会議は、コロナ禍で4月を中止しています。2ヶ月分の活動内容を管理者がまとめたうえで、町役場、地域包括支援センター、民生委員　家族代表、社協などのメンバーに郵送しています。6月には再開、8月も通常開催が出来ており、6月には4月に書面上で伝えきれなかった点を補足しています。なお、追って4月について「意見なし」と行政より書面回答も得て、書面開催を完遂しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	町民課長は欠かさず運営推進会議に出席くださり、話し合いの中心となって頼りとなるとともに、何か疑義が生じれば率先して調べてパソコンメールでもフォローくださり、陰ひなたない関わりに「感謝しかない」と、事業所では厚い信頼を寄せています。コロナ禍対応についても、アルコール、マスク、非接触体温計が設楽町役場からいち早く届き、安心に結ばれています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族には毎月の様子を便りとして届けてきましたが、これまでのように気軽に面会ができなくなってきたことから利用者に絵を描いてもらい、その作品と一緒に撮影、安寧の様子を家族に送るということも始めています。家族アンケートも「安心して任せられる」として異口同音に「明るく、丁寧な対応とともに、適切なコロナ対応がある」と評価されており、近年苦言があがったことはありません。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										